



神戸を一日楽しむなら、このコース

ONE DAY TRIP ②

～北区北部編～



神戸市は広い。神戸と聞くと三宮や港をイメージしがちだが、海の上のポニーアイも六甲の北側も神戸市のエリアである。神戸市の広さにもっとも貢献している区は、約240平方キロメートルの面積を誇る北区。全国の区の中でも7位の広さなのだ。それだけに見どころも多いはず。今回はメジャーな有馬を割愛し、北区の北部に限定。それでも家族もカッブルも楽しめる、北区の1日ドライブコースを提案しよう。

① キリンビアパーク神戸 工場のビールは味も格別！

神戸はおろか、近畿圏のどを潤すキリンビールの神戸工場。なんと年間で大びん約4億7千万本(！)のビールが生産されている工場をリアルに見学できるのが、ここキリンビアパーク神戸だ。原材料の麦やホップを手にとつてその香りを体感すると、仕込まれ発酵してビールとなるのが何となくイメージできる。圧巻なのはパッケージング



工程。生産ラインの動きの早さと正確さには、息を呑むばかり。呑むといえは、ビールも無料で試飲OK（ドライバーはソフドドリンクをどうぞ）。生い立ちを知れば、普段何気なく飲んでいるビールの味もまた複雑に感じるから不思議…。また、ここは余熱を利用するなど環境配慮型の工場でもあり、キリンビールのエコについての取り組みを子供たちにもわかりやすく展示している。ガイドが案内するツアーなどイベントも多数。

開館時間／9:30～17:00
 (受付は16:30まで)
 月曜休館(祝日は開館)

神戸市北区赤松台2-1-1

☎07899868001

http://www.kirin.co.jp/kansai



②たぎ屋

「血統書付き」の美味に感激!

創業70年あまりの三田牛の老舗が直営するレストラン。柔らかい口当たり、そして舌の上で淡雪のごとくとろけるお肉は、豊かな旨味と甘みが広がる絶品。記憶に深く刻まれるその味わいは、なるほど、全国から「お取り寄せ」の注文が届くのも合点がゆく。厚みがあっても不思議なくらいに柔らかい肉質の理由は、契約牧場で育てた未經産牛のの味を満喫したい方は

天然塩を少しだけ付けて味わうのがおすすすめ。すき焼き、しゃぶしゃぶ、ステーキはもちろん、天然石で焼く石焼きも人気があるそう。お肉以外のお料理も見逃せない。和食出身の料理長の確かな仕事、繊細な味覚の世界を描く。落ち着いた店内には、鉄の作家・近藤明の作品がやさしい空気を醸してくれる。テラスでは愛犬と一緒に食事事もOK。初夏には蜚を眺めながらバーベキュー



なんて、夢のようなことも。お肉屋さん直営ゆえ、価格がリーズナブルなのも大きな魅力だ。

営業時間／10:30～21:00
 (LO 20:00)
 水曜定休

神戸市北区有野町二郎17-1

☎07899872582





③ Lumiere (リュミエール) 作品でもある小粋な雑貨

神戸や大阪のベッドタウンでもある北区は、生活をお洒落に愉しむ人たちが多い土地柄。そこでちょっと噂になっているのが、2月にオープンしたばかりの雑貨屋さん、リュミエール。その名はフランス語で「光」の意で、まさにきらりと輝く個性派のアイテムが揃う。全国の作家さんたちの手がけたアクセサリーやオリジナルティあふれる生活雑貨など、ナチュラルでやさしい質感のある雑貨の数々は、すべて女性オーナーのチョイス。ペッ

ト用グッズや手芸用品、ウエアも人気だとか。レザーやスタンプに名前など好きな文字を入れたり、お気に入りのデザインをマグカップやTシャツにするといったオーダー加工も取り扱う。プレゼントのアイデアが湧くばかりでなく、自分用にもと目移りが…。

営業時間／11:00～20:00
木曜定休

神戸市北区有野中町3-2-7-1
コラール2番館

☎078-981-3939
<http://lumiere.mond.jp>

④ CAFE JAMAICA (カフェジャマイカ)

独創的にして、本物のカフェ

のんびり過ごす小旅行。昼下がりのティータイムには、新感覚のフレーバーは何か？ オリジナルのスムージーは水ではなく氷結果実で作るから、濃厚で豊かな味わい。定番の抹茶とバナナ、健康的な大麦若葉とバナナなど、試行錯誤の上に生まれた名作揃いだ。5月末まで時期限定の、地元二郎いちごも見逃せない。ケーキだっておもしろい。胡麻と胡桃のケーキは、ラム酒の香りが風味に花を添える。ユニークなアイデアを生み出すマスターは、全国を旅しながら

地の食材やお酒を調達。本物の素材と味を求める情熱と、洒落なインスピレーションで味を創作する。もちろん、地元ネタにも手抜きはないから、お店は街の情報ステーションでもある。心地よい音楽を耳に、ゆっくり流れる「ジャマイカ時間」を満喫しよう。

営業時間／12:00～24:00
日・月定休

神戸市北区有野中町3-1-4-25
(宮脇書店裏)

☎078-982-7754

<http://znsoul.tinfuseek.co.jp/>
cafejamaica.him





⑤フルーツフラワーパーク 花を愛で、実り多き時を

神戸にはたくさんさんのアミューズメント施設があるが、フルーツフラワーパークはその代表格のひとつだろう。百ヘクタールもあるという広大な敷地に、花と緑と果実が、歳時記のごとくシーズンを彩る。これからの季節はサルビアやペゴニアが咲き誇る花壇のスケールは圧巻だ。普段はなかなか目にするのでできない果樹の花や、パイオテクノロジー見学も興味深い。時期によってフルーツ狩りも楽しめる。中世ヨーロッパの世界に迷い込んだかの錯覚を覚える建物

には、愛犬と泊まれるホテル、バラエティに富んだレストランやカフェのほか、源泉かけ流しの天然温泉も。ほかにもパークキューや遊園地、ワイン・ビール館など、楽しみも咲き乱れるアグリ・リゾートだ。

開園時間／9:00～17:00(レストラン) 21:00・バーデハウス

22:00)

無休

神戸市北区大沢町上大沢

2150

078-95411000



タイムスケジュール

①キリンビアパーク神戸

(車で10分)

10:00

②たき屋

(車で10分)

11:30

③Lumiere

(車で3分)

13:00

④Cafe JAMAICA

(車で10分)

14:00

⑤フルーツフラワーパーク

15:00



■チャレンジ神戸！この企業に注目②

独自のキャラクターを發揮する 新しいホテルに 新神戸オリエンタルホテル

新しいサービスに挑戦！

リニューアル計画

1988年にオープンした
新神戸オリエンタルホテル。

今年の春からスタートした

リニューアル計画が着々と進
んでいる。高層階の客室、コ

ーヒーハウス「ミラベル」、
ティーラウンジ「パサージュ」、

バー「レスカル」、そして関

西でも屈指の広さを誇るメイ

ンロビーが続々とリニューアル
した。エグゼクティブラウ
ンジは、オフホワイトを貴重
に、シンプルでありながら上

質なスペースをつくりだしている。北欧の一流ホテルをイメージしているだけあって、ホテルの快適性を重視した。

「キャラクターを生かしたホテルをめざしたい」と語るのは、新しく就任した邛勇（ペイヨン）総支配人。デザイン、



関西でも屈指の広さを誇るメインロビーフロアも、ゴールデンウィーク前には完成する

サービス、内装、すべてに新神戸オリエンタルホテル独自の個性を発揮することにより、自らの道を歩んで行くと言う。後ろに山、目の前が海というロケーションを持つ神戸は、関西の個性とインターナショナルな雰囲気을合わせ持っている。加えて新神戸オリエンタルホテル最上階37階からの眺望は、神戸随一の展望。「ヨーロッパで例えるなら、大阪はフランスで、神戸はスイス小さなまちだけどもしろい」と邛総支配人。

サービスへのこだわりも徹底している。ホテルのカフェでいちばん良いコーヒーを出すのは当たり前のこと、そこにいちばん良いコーヒーマシン、いちばん美味しいチョコレート、そしてテーブルにはちよつとしたアートを付け加える。

レストランにもアイデアが詰め込まれている。アジア各国の料理が揃う、今までにないレストランを実現。毎日訪れても新しい発見がある。これは大変な努力が必要なことだが、「やりがいのある努力」



上/「ザ・ラウンジ(旧バサージュ)」は、オフホワイトと木材を基調にリニューアル。下/「キャラクターを生かしたホテルをめざしたい」と語るのは、新しく就任した邇勇(ペイヨン)総支配人。



には500人以上の従業員が勤めている。

「従業員ひとり一人の良い部分を引き出してあげることが、人事のケアです」と邇総支配人は言う。従業員を誉めるのではなく信用することが邇流の人材育成術。例えば現場で起こった問題に対して、従業員ひとり一人が自らの判断によって問題を解決し、その後、各マネージャーに報告するのが新神戸オリエンタルホテルのスタイル。

「私の考え方は、総支配人はいちばん下の人間です。いちばん上にいるのは若い人たちです。なぜなら現場で直接お客様と接しているのですから。私はチームで仕事しているのです。だからスタッフはみんな好きです。スタッフには『このホテルのオーナー

スタッフは会社の財産 全員の個性を活かしたい

「我々の商品は人間です。まずはスタッフがハッピーにさせることが私の仕事。スタッフがハッピーになれば、お客さんもハッピーになるはずだから」と語る。毎週一回、現場のスタッフとランチを一緒にとり、コミュニケーションを欠かさないのが邇流のやり方。

新神戸オリエンタルホテル

だと邇総支配人。また「ザ・テラス(旧ミラベル)」では、12歳以下の子供は無料というキッズイートフリーもスタート。
「サービスをコピーされるのはまったく構いません。我々は常に新しいサービスを生みだします。我々が神戸ホテル業界のリーダーになっていきたい。その結果、ひとつの会社として神戸に貢献できるはず」

は自分だ」という気持ちで働いてもらいたいです。新神戸オリエンタルホテルで働いていることを誇りにしてほしい」

どんどん新しい試みを試していきたい

来年には神戸空港が開港し、神戸のホテル需要は急速に伸

びることが予想される。特にアジア各国からの観光客の増加には、大いに期待が集まっている。新神戸オリエンタルホテルではそれを見据えて、現段階で客室全室に中国と韓国

のチャンネルを完備した。

「5年後の神戸には、とても期待しています。すごく良くなっているはず。だから

まからどんどん新しい試みを試していきたい」。

邨総支配人の目指す理想のホテルとはずばり「キャラクターがありシンプル、プロフェッショナルなサービス、そしてクリエイティブかつインターナショナル」。新神戸オリエンタルホテルは、独自路線を歩みだしたばかりだ。



木のやさしさを追求したエグゼクティブラウンジ



高層階(30階~32階・37階)の客室73室がリノベーションされた

イタリアダマヌールから
光の神戸へ

美しい永遠の地球 へ変えるチャンス “ダマヌール哲学”

フェニーチェ フェルチェ 氏にインタビュー
Fenice Felce (創設者の一人)

通訳 Dugongo (守口純好) ダマヌール在住市民

Federation of

DAMANHUR

—ダマヌールって何のことなんでしょう？

イタリアのトリノに近いところにある、44
のコミュニティの集合体で、1975年に創
立され、今では精神的、芸術的、ヒーリング、
社会的な研究センターとして広く知られ、イタ
リア政府も公認のもとで独自の社会体制の試み
を行なっている連合体です。ダマヌールという
名称の由来は、光の街、アダムの街、人類の街
という意味があり、古代エジプトですばらしい
文化が表現されていた時代に実在した、人類の
偉大な知識の研究や教育を行っていた地下都
市の名前です。その場所には、古代ギリシャや
エジプトにとどまらず、世界各地から高度の知



*New
Renaissance*

識の研究や教育を受けるために、探求者たちが集い、その多くは歴史上に残る偉大な古代哲学者として広く知られています。現代においては、精神的リーダー、オベルト・アイラウディと12人の仲間である研究者たちがイタリアのトリノで出会い、共有の夢を実現するためにダマヌールを創立しました。私もその一人です。

いつの時代も人間が疑問に思いながら、ちゃんとした答えを見つけることなく、なんとなく生きています。この共通の疑問というのは、私はどこからやって来たのか？私が生きている本当の目的は何なのか？私はどこへ向かって生きていくのか？死んだ後はどうなるのか？世界中で神様、神様と言われているが、その存在は本当は何なのか、誰なのか？といったものですが、こういった疑問に対してこの人生の中ではつきりと科学的、哲学的にもわかる答えを見つけ、その前提に基づいて、意義のある人生を生きたいという研究者たちの夢から探求が始まったのです。ダマヌールでは創立当初から同時並行してとにかく多彩な領域にわたって研究を継続してきています。その中でも当初から特に力を入れてきた研究の一つがヒーリングです。社会の中で、生きて体験し行動をしながら、精神的な研究を行なうというダマヌールの基本哲学からして、健康の維持は不可欠な要素です。人間は、人生の体験を通じて学び、新しい見方や価値観を発見し、広い見方での調和的な生き方を実現していくことが大切です。人間は植物や動物達やさまざまな生命が存在するエコシステム全体の一部として、人間本来のあり方に基つ

いて調和的生き方を実現してこそ、人間自体が精神と身体の調和が維持できると考えられます。自然にあるものを尊重して、大切に使うことで共存できる行き方を毎日の生活スタイルで実現していくことが、人間一人一人の課題ではないか。現代の消費主義や自己中心的な見方ではない、より広い見方で自然と調和のある生き方を探求していくことがダマヌールの哲学です。人間として本来の存在のしかたや存在の意義が本当に理解され、人間の本来の調和的な生き方を本当に求め始めたら、今のような暴力的な社会のあり方や戦争はできなくなるはず。私達が真剣に地球との共存を考えると、今までのような汚染状況や環境を改善するよう行動しなくては生きてはいけないんだと気づくと思うのです。

山と海の自然が豊かな美しいまち神戸は、大都市ながら自然と人間との調和がよくとれていると思います。阪神・淡路大震災から10年です。こんなに見事に復興できたのは、神戸の人々のすごい努力とエネルギーを感じますね。

―ダマヌール神戸センターを創られる意味は？
まず、人がより良く生きるために、肉体、マインド、精神の調和を実現するために役立つダマヌールのヒーリングを多くの人に提供すること。東京や、大阪や、京都とちがって、私は神戸の自然と、調和のとれた人間と街にとっても魅力を感じ、アルプス山ろくにあるダマヌールと共通点があると思いました。ダマヌールは30年の歴史の中で、4本のシンクロニックラインが交差する地下70mの特別な聖なるエネルギーのある場所に、すべて手作業で「人間の神



神戸センターの中川久子さんとフェニーチェさん

殿」を建設しています。

ここは44の連合体の拠点であり、地球のたいへん活動的なエネルギーに位置しているために、神殿自体に、神聖な神と接触するためのスピリットが宿つて

いて、人間の心と魂に語りかける生きた存在です。このエネルギーの川は、古代中国では「龍の背中」と表現されてきましたが、この神聖なエネルギーの川は、地球全体を網のようにとりまき、さらにラインは地球の両極から銀河宇宙全体につながっています。ところがこのエネルギーの川に人間が実際にアクセスできる場所は、地球上でも非常にまれで、4本も交差する点はありません。「人類の神殿」を訪れ、内でメデイトーションすることは、自分自身の精神的な成長の可能性に役立てることができません。このエネルギーラインにアクセスできる特別なポイントが神戸界隈にあることがわかっています。利点を活かし、人間の進化に役立つ研究を行なっていきたいですね。

現在ではダマヌールの研究者は世界中に広がり、60以上の経済的な活動を含めて、独自の通貨システム、ヒーリング、芸術的活動、エコロジカルなエネルギー研究、精神的、心理的研究、教育、オーガニックな食品の生産など、日々進化を続けています。ダマヌールの自治体から

の提言が、イタリアの政府にも反映され、新しい情報発信や独自の社会体制を実現しています。ダマヌール哲学は「変わり続けること」が最大のコンセプトです。いま私たちは、新たなルネッサンスの入り口に立ち、地球が直面している危機的な状況を、美しい地球へと変えるための貴重なチャンス。ぜひあなたもチャレンジしてみませんか。

震災から10年、神戸の皆さんが協力して、自然と調和のとれた美しいまちに復興されたことに敬意を表し、より調和のとれた人間関係の中で、皆さんがより良い人生を生きられる社会の実現へと発展されることを祈ります。そして、より広がりのある見方によって、自分達の偉大な故郷である地球全体が、調和のとれた宇宙の星になれるように変化をさせたいし、もっとグローバルなビジョンをもって、世界に光を発信することのできる新しい神戸を創り出してほしいと願います。

◇感覚を拡げるセミナー 神戸◇

人間が本来持っている可能性を使って、神聖な部分を発見していくためには内面的感覚を目的めさせることが不可欠です。そのために研究し、発見した実用的なテクニックの数々を学びます。

5月7日(土)～8日(日)両日とも10:00～18:00

場所:ダマヌール日本神戸センター

(阪神・六甲ライナー魚崎駅徒歩3分)

参加費:予約振込み37,000円(当日払40,000円)

プラノヒーリングの他、各種ヒーリングセッションをご希望の方は、下記までお問い合わせください。



ダマヌール日本神戸センター

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町1-6-54
住吉川アーバンライフ202

Tel&Fax : 078-858-8574

e-mail : damanhur-kobe@s5.dion.ne.jp

■ダマヌール日本ホームページ

<http://damanhur.jp>



■私の意見 能福寺創建1200年 歴代先徳の御遺徳を偲ぶ 雲井世雄

能福寺住職



現在では、近未来の情勢も読み取れない混沌とした世情となりました。貧困と不運な世界各地の人々の窮状を目にする時、治安の不安定な日本ですから、それでもまだ幸せな営みをもてる環境にあることを感謝しております。

さて、そのような時勢の中、能福寺は、最澄傳教大師が、延暦二十四年六月（八〇五）、わが能福寺を開創されまして、今年一二〇〇年の節目を迎えることになりました。

桓武天皇の勅命により中国に留学していた伝教大使最澄が帰途、兵庫和田岬に上陸し、歓待した庶民によって建てられた堂宇に、大師自らが刻ん

だ薬師如来像を安置し、能福護国密寺と称したのが、当寺の開創したと伝えられています。

また、拙寺にあります兵庫大仏は、明治24年に建立。大戦中に金属回収のために解体されましたが、平成三年（一九九二）に再建。創建以来数々の栄枯盛衰の艱難を乗り越えて、かろうじて現在まで存続しているわが寺が愛おしく思っています。

今年、能福寺の一二〇〇年という長い歴史の一つの区切りとして、最澄さまと、歴代先徳の御遺徳を偲び、あわせて能福寺の長壽を労って参ります。

KOBECCO 2005

えま&慧奏

＜音楽家＞

—楽器からのメッセージ—

「彼らの演奏世界にひきこまれる」という表現がある。けれど、えま&慧奏の演奏は、自分たちの世界に誘うのではなく、私たちをどこかへ「帰す」。私たちは回帰する。

独特の歌声と、二胡や豎琴を弾き語る、えま。竹や、自然素材でつくったオリジナル楽器や民族楽器を演奏する慧奏。中には推定4万年前からアボリジニの間で伝わる民族楽器を竹でつくりなおした楽器もある。「ずっと昔から、自分の国の文化を大切にしてきたからこそ伝わる民族楽器。そんな楽器たちを弾いていると、楽器の育まれた風土やスピリットが伝わってくるがあるんです」と、えまは話す。彼らは自分たち独自の演奏を「あめつちのうた」と表わしている。

二人は淡路島に住んでいる。今年3月から11月にかけて、ウエスティンホテル淡路「海の教会」で、ゲストをまじえた演奏会「海からの風」を開催。5月14日（土）はサンポーニャ・ケーナ奏者・岡田浩安がゲスト。淡路の海風に吹かれ、二人の音色に包まれない。

■Sound Waving at 海の教会

5月14日（土）19時30分開演

ウエスティンホテル淡路／一般3000円（税込）ホテルゲスト2000円（税込）

ユライワークス <http://www.yurai-works.com>

KOBECCO 2005

北川晶子

<アーティスト>

—手をつなぎあわせる—

南京町のギャラリー「蝶屋」で開催された個展「Life from my hands」では、122人の手の写真を転写したオーガンジーを、1枚に縫い合わせた作品を発表した。「0歳〜94歳までの方々の手を撮影しました。写真ひとつひとつを転写しているうちに、不思議ですわ、手だけなのに、その人たちの顔が浮かんでくるんですよ」と北川。手のしわ、ほくろ、指輪、たくさんの手たちを見ているとその人となりを感じられ、何時間見ても飽きない。

震災後の記憶を形にしようと、被災地の地図を布に転写した作品や、バラバラにした世界地図を縫い合わせた作品などを発表してきた。「国境線無くして心を開放する、という意味で、世界地図を縫い合わせた作品を作っていたら、それよりも、人間同士が手をつなぐことが基本ではないかと思ったのです。平和を声高にさげぶより、身近な人と手をつなげばいいんじゃない、って」。



阪神・淡路大震災10周年記念
第26回 関西マンドリンフェスティバル



●ある集い●移情閣コーラス

美しいハーモニーと
人の輪の広がり求めて

移情閣コーラスは舞子海岸に立つ移情閣を拠点に日中文化活動を展開する友の会活動の一環ですが、十数年前アグネス・チャンの歌う「大海啊故郷」に感動し、この歌を原語で歌いたいなと、張文乃先生にご指導を仰ぎ、月一回の練習を開始、一九八九年の「移情閣納涼まつり」に初めて歌いました。

その「移情閣コーラス」も十六年の歳月を経て、国際都市神戸にふさわしいユニークな合唱団として、日中交流行事や、チャリティ行事などに出演のお声をかけて頂く事も多くなりました。ハーモニーも美しく、持ち歌も多くなりましたが、何よりも一人の先生との出会いから得た人の輪の広がりは各々の財産となりました。コーラスを通して新しい出会い、同好の友を得たい方はどうぞご連絡くださいませ。歓迎いたします。(電話〇七八―七八三―五五二二)

河合 純子



●ある集い● HULA HĀLAU PUALANI

ハワイの風に包まれた

レインボー ハイアンプार्टィ

4月8日神戸ポートピアホテル16F、レインボールームにて開催されたフラハラウプアラニのハワイアンパーティーは、ポートアイランドス河田信秀さんのオーバードザレインボーから始まる一日でした。

レインボーパーティプアラニ・サヨコ&魔女&丹野最世子は20年前からハワイと日本を往復して、「ビーマー」スタイルのフラを学び、スマイルと共に豊かな心と健康なる身体を育てるハワイアンフラの魂を正確に伝えていきます。

デザイナーとしてヨーロッパ風ファッションが好きだったのが、いつの間にかハワイアンスタイルに！曲と踊りに合わせてデザイナー出来る楽しさを、生徒の皆さんに着用して味わっていただき、心と身体の中にハワイの自然の風と緑を吹き込んで、喜びを分か合い、ますます私達は美しく楽しい人生を作って行きたい…と燃えています。

プアラニ・サヨコ

神うやふりの
涼平浮世絵



福原において髑髏どくろの妖怪が清盛を襲う

中右 瑛

清盛が都びとたちの反対を押し切り遷都を強行したのは治承四（一一八〇）年六月のこと。神戸・福原に都を移し、清盛も移り住んだ。既に清盛は出家しており、表向きは隠居だが、京の一族とも結束は固く、娘婿・高倉天皇をもあやつり、まさに独裁政権。

しかしながら福原における清盛の日々は決して平穏ではなかった。源氏再興の声に怯え、絶えず妄想に悩まされつづけた。

ある日、福原の殿舎で雪見の真つ最中、庭の木々や築山、燈炉までもが髑髏どくろとなつて清盛に襲いかかった。「保元の乱」（一一五六）、「平治の乱」（一一五九）で殺された武士たちの怨念である。

清盛がまだ若き京都時代、鳥羽法皇の崩御をきっかけに、その長子・崇徳上皇と次子・後白河天皇との権力闘争が表面化し「保元の乱」が起こり、その恩賞が因で平氏の清盛と源氏の頼朝・源義朝との覇権争いとなり「平治の乱」が起こった。以降、源氏と平家の宿命的な対立が激しくなり、源氏を破った清盛は日々勢力を伸ばし、ついには後白河法皇をバックに従一位太政大臣にまで昇進したのだった。

幻想に狂う清盛

新形三十六怪撰 月岡芳年画



それ以来、武士の台頭がはじまり政治への発言力が強まったのである。しかし、源氏がいつ巻き返しにくるかが清盛にとつては不安で、雌伏する源氏勢にいつも脅威を感じていたのだった。

『平家物語・物怪之沙汰』にも、福原での清盛は妄想にとり憑かれた、とある。源氏台頭に怯え、幻覚が清盛を襲った。

絵師・広重は奇想な絵に仕上げた。雪景色に妖怪性を織り込んで、迫真力のある奇想なシチュール・リアリズム（超現実）の世界を展開させている。大髑髏と対峙する清盛。坊主頭、ピンと跳ね上がった八の字の髭、目を見開き見得を



福原の殿舎において鞆腰の妖怪が襲う 歌川広重画

きる清盛の表情、刀を構え毅然としたポーズは、武士の威厳を感じさせ、格調のある絵になっている。大小無数の鬘腰の絶妙な配置、奥行きを感じさせる泉水庭、御殿、回廊などの構成は、実にうまい。藍の空に白い雪、豪華な衣装の対比などなど美しい色彩にも惚れ惚れする。

しかし、これは単なる武者絵ではない。広重がこの浮世絵を描いた時代背景を知る必要がある。時は幕末に近い天保時代の時局政治を批判したパロディではなからうか。「天保改革」(一八四一)を実行した時の権力者、老中・水野忠邦を、時代をスリッパさせて清盛に見立てているのではと推測させる。「天保改革」の名のもとにさまざまな規制をして庶民たちを苦しめる。虐げられた江戸庶民たちの怨みつらみが鬘腰に表現されており、権力への挑戦、民衆の抵抗ともうけとれる。浮世絵には、そんな江戸庶民たちの反逆感情がこめられているのである。広重はそれを代弁した。風景画家・広重の珍しい武者絵である。

栄華を誇った福原での清盛だったが、再興を企てる源氏勢との対立が益々激しくなり、その後も妄想に悩まされ、次々と災難が待ち構えていた。



■中右瑛(なかうゑい)
 抽象画家・浮世絵・夢二エッセイスト。一九三四年生まれ、神戸市在住。行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵内山賞、半どん現代美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受賞。現在、行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事、著者多数。

海船港

源平ゆかりの瀬戸内クルーズ乗船記①

文・写真 上川庄一郎



■かみかわ しょうじろう
1935年生まれ。神戸大学卒。
神戸市に入り、空港対策室長、
消防局長を経て定年退職。
現在、大阪産業大学非常勤講師。

出航前の夜の神戸港ポートターミナル

【神戸から瀬戸内にかけては源平の巢窟】

神戸市民クルーズと呼びし、「月刊神戸っ子」では第2回神戸っ子クルーズ「春の瀬戸内紀行」NHK大河ドラマの舞台・源平合戦ゆかりの地を訪ねて―と震災10年記念号で読者の皆さんに呼びかけた。今回のクルーズ船は、高松下関に寄港する「ばしふいっくびいなす」。神戸はもとより、瀬戸内一帯は義経・平家ゆかりの史跡に満ち満ちている。そこにNHKの大河ドラマで「義経」が取り上げられているのだから人気は上々と言いたいところだが、乗船客はちよつと少な目の総勢二百二十四名。

その内訳を地域別で見ると、近畿圏が29%（兵庫県下16%、神戸市内12%）、東京圏34%、香川県5%、山口県14%、その他18%である。東京圏が多いのは別としても、山口県に比べ、みなと神戸の比率が意外に低くちよつと残念。

船内では、田辺真人先生の源平合戦にまつわる講話や上原まりさんの筑前琵琶の演奏など源氏・平家に因んだプログラムも用意され、歴史散歩・教養志向型クルーズになっている。

今回も、神戸新聞社から永田記者が取材乗船している。早速歓談して、このクルーズを「神戸元氣宣言」につなげようと意見が一致。私も、この海・船・港シリーズで2回にわたって書かせていただくことにした。

【神戸港出航セレモニー】

横浜港から乗船してきた方たちを含め神戸からの総勢二百余名の乗船客に、神戸市は小柴みなと総局長の歓迎挨拶の後、源平ゆかりの史実に基づきオリジナル曲として作曲された「源平



新装成った高松港客船埠頭



“源平流し”で歓迎する高松市民の皆さん



武者装束で歓迎する下関市港湾局職員の方々

須磨太鼓”はとても迫力があり好評を博した。

港の活性化に、クルーズ船の誘致は欠くことのできない要素として神戸市は力を入れている。船は、夜11時神戸港を出港して一路次の寄港地高松を目指す。高松といえば、義経の奇襲に遭い一の谷の合戦に破れた平家一門がひとまず逃げ延びた屋島が目と鼻の先である。

【高松港での歓迎】

高松港では、香川県観光協会の肝煎りで歓迎行事が行なわれ、平家の落ち行く様を表した踊り“源平流し”と森繁久弥作詞作曲の“船隠し”が披露された後、ご自慢の讃岐うどんの手打ちの実演と続く。折角の振舞いを有難く頂戴。

数々の古戦場跡のある屋島だが、現在は陸続きになっていて、有料道路が整備されている。この屋島合戦義経ロードをたどって、歴史の名場面を訪ねることができる。“船隠し”という平家が船を隠したとされる地名も残っている。

【平家終焉の地・壇ノ浦へ】

屋島を追われた平家一門は、再び西に逃れて壇ノ浦に再集結する。その源平最後の決戦地・

下関に向けて、船は夕刻17時30分錨を上げる。

出航すると間もなく、予め乗り込んでいた下関市港湾局の担当者が、義経・平家伝説をテーマにした下関観光案内を始めた。また、ディナー終了後も特設デスクを設けて個別の案内・相談にのるなど、なかなかの力の入れようである。

【一段と熱の入った下関港の歓迎行事】

下関港に着岸した船に、鎧兜に身を固め赤旗・白旗をかざした平知盛・源義経、それに従う官女に扮した市の港湾局職員を従え、谷川港湾局長が早速乗船して来、「この度は、春の瀬戸内紀行”で下関をお訪ねくださいまして有り難うございます。皆様方のお越しを心からお待ちいたしておりました。ここ下関は、源平に関わりの深い史跡が多く、きつとご満足のいただけることと思っております」と歓迎挨拶。その後、官女から由良船長に花束が贈呈された。乗船客からは拍手、拍手。

引き続き、埠頭では平家太鼓が披露され、これを合図に乗船客は三三五五オプショナルツアーに繰り出していった。

有馬歳時記



郵便切手の文化を知る世界一の博物館 「切手文化博物館」が有馬温泉にオープン

有馬に世界一の文化施設がオープンする。国際切手展で世界最高の評価を受けるなど、そのコレクションが高い評価を受けている金井重工業株式会社取締役会長の金井宏之さんが、75年にわたり収集してきた切手コレクションを中心に、日本のみならず世界の切手、郵便の歴史を知る、世界でも類を見ない博物館だ。

日本で、国が初めて郵便切手を発行したのは明治4年。それからさかのぼること30年前、1840年にイギリスで世界初の切手が発行された。その「ワンペニーブラック・カバー」が1840年5月6日の発行初日に使用された、非常に貴重なコレクションも展示物のひとつ。その他、日本の切手の中で一番の希少品とされ、現存するものは世界



「ワンペニーブラック・カバー」世界で最初に発行された切手の初日使用(1840年5月6日)



世界屈指の切手コレクターである金井宏之さん

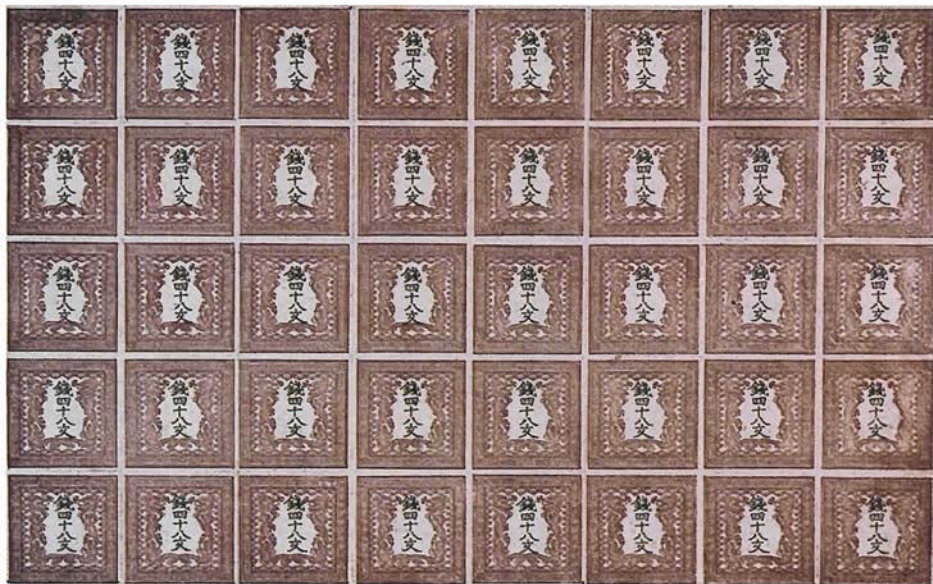
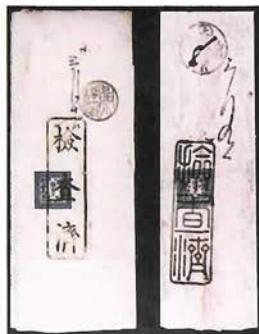
「切手とのつきあいは 人間同士のつながりと同じですよ」(金井)



ビクトリア女王の横顔が印刷された世界初の切手
(右図の部分拡大)

で2枚しかないという未発行の二十銭切手「桜切手と紙二十銭(イ)」など、貴重なコレクションが多数収められている。

金井宏之さんが切手を集め始めたのは5歳の頃。「疎開したとき一番始めに持ち出したのは切手コレクションだった」とか。最初はモーリシャス島で発行されていた切手を中心に集め、1978年には国際切手展でグランプリ・ド・ヌール賞を受賞した。収集だけでなく、切手が生れた国の文化、郵便の歴史などの造詣も深い。金井さんは切手の魅力について「例えば日本の切手を貼って、海外に出してもきちんと郵便が着くというのは、国が発行しているものだからです。だからその国の文化が凝縮されているのです。切手とのつきあいは、人間同士のつながりと同じですよ」と話す。博物館は5月17日に一般公開。オープン日の5月16日は金井さんの80歳の誕生日であり、切手収集を始めて75周年の日にあたる。



2003年国際切手展グランプリ・ド・ヌール受賞コレクションの一部

(写真右上) 明治4年日本で初めて発行された切手「竜四十八文」切手シート

(写真左上) 「桜切手和紙二十銭(イ)」

(写真左下) 明治4年日本郵便創業時に最初の消印が押された封書

有馬一望・歴史の名湯

HYOE

兵衛

向陽閣

TEL (078) 904-0501(代)

URL <http://www.hyoe.co.jp>



有馬温泉月光園

GEKKOEN

鴻臚館

KOROKAN

TEL (078) 903-2255

姉妹旅館 游月の荘

TEL (078) 904-0366

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり味に集う
ARIMA

SUNNY SIDE UP
TENNIS CLUB
TEL (078) 903-1024



攝津有馬
御所坊

TEL (078) 904-0551

静寂さにつつまれた
くつろぎの宿

国際観光旅館

陵楓閣

TEL (078) 904-0675

トピックス

有馬温泉総合案内所が移転

これまで善福寺下にあった有馬温泉総合案内所が、3月、三井住友銀行跡に移転した。有馬のメインストリート・太閤通のなかほどに位置し、三宮、梅田方面行きバス発着所にも近く、これまで以上に便利になりそうだ。



神戸市北区有馬町7903
☎0789040708(電話番号は変更なし)
営業時間 9時～19時



博物館の建物は、約300年前の土蔵造りの建物を岩手県から移築した(写真は完成予想図)

DATA

切手文化博物館 10時～16時 火曜休 大人500円 中高生200円 小学生以下無料
5/17(火)～6/16(木)開館記念展 以降常設展示の他、特別展示企画
■お問い合わせ/開館準備室 ☎06-6346-3421(財団法人郵趣文化センター)
博物館 ☎078-904-0024

有馬での会食・宴会は懐石料理・ステーキが楽しめるいり亭「華庭」で!!
(昼5000円～、夜8000円)で!!
有馬温泉 政府登録国際観光旅館
銀水荘別館

北楽

TEL (078) 904-3656(代)

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

日本の伝統
数寄屋造りの館

欽山

TEL (078) 904-0701

チェックイン13:00、アウト12:00
ゆっくりとお過ごしいただけます。

雅ただようくつろぎの館

中の坊珠苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーからご家族づれまで
有馬グランドホテル
TEL (078) 904-0181